

標準施工要領書

ユニオン SLフローアー

1. 製品の概要

用途： 長尺シート、P タイル、木質系床材等の屋内貼り物床下地
カーペット、じゅうたん等の屋内敷物床下地

荷姿	適用下地	標準水量	練り上がり量	塗厚	施工面積		
					10 mm厚	15 mm厚	20 mm厚
25kg 紙袋入り	コンクリート PC 板	6.3 % (調整幅 6.0~6.5 %)	約 15 %	5~20 mm	約 1.5 m ²	約 1.0 m ²	約 0.75 m ²

2. 注意事項

- SLフローアーの最適な施工厚さは 5~20 mmです。5 mm未満ではセルフレベリングできない恐れがありますのでご注意ください。また、20 mmを超えると不具合を招く恐れがありますのでご注意ください。
- 気温が 5℃以下になる場合は施工を避けてください。やむを得ず施工する場合は、仮設暖房などにより全体への均一な採暖養生を行なってください。室温を安定させるようにして、施工面へ直接暖気を当てることはひび割れの原因になるため行なわないでください。
- 本製品は既製調合品ですので、指定材料以外の材料は混入しないで下さい。また、練混ぜに使用する水は水道水を使用してください。
- 施工時に材料が飛散するおそれがありますので、保護が必要な部分は予めポリエチレンフィルムなどで養生を行なってください。
- 軽歩行は、夏期 24 時間以上、冬期 2~3 日以上で可能ですが、表面はキズつきやすいためダンボールや養生シートを敷くなど保護してください。また、建築資材等の直置きも避けてください。

施工要領

(1) 下地の処理

- ・ 下地の脆弱部分、レイトンス、油脂、汚れ等はサンダー掛けで除去してください。
- ・ 屑、粉塵は掃除機で十分に清掃してください。
- ・ 凸部は研り取り、凹部はあらかじめモルタルでつけ送りしてください。

(2) 漏出防止措置

- ・ 僅かな隙間でも漏出するおそれがありますので、十分にチェックして隙間のある箇所はバックアップ材やモルタルでせき止めてください。

(3) 墨出し

- ・ 壁際に墨出しを行ない仕上がり位置を表示してください。
- ・ 床面に1~2m間隔でアタリを設置してください。
- ・ 面積が広く同一面の仕上げに時間がかかる場合は、1~2m間隔でセキを設けて区切ってください。また10分以内に仕上がり位置まで流し込める範囲で区切ってください。

(4) プライマー塗り

- ・ 下地が乾燥している状態でSL専用プライマーの4倍希釈を2回塗りしてください。

SL専用プライマー	原液	水道水
4倍希釈液の調合比	1	3

- ・ 1回あたりの塗布量は、140~180g/m²です。
- ・ プライマーはハケやブラシを用いてコスリ付けるように塗布してください。
- ・ 1回目透明に乾燥してから、2回目を塗りつけてください。
1回目から2回目の塗布間隔の目安：夏期1~2時間、冬期3~4時間程度
- ・ 乾燥の目安時間を過ぎても低い部分に溜まってなかなか乾燥しないプライマーは、ハケでのぼして乾燥させてください。
- ・ プライマー塗布後は粉塵等が付着しやすくなりますので、できるだけ早くSLフローアーの施工を行なってください。

(5) 施工箇所の保護養生

- ・ SLフローアーの流し込みに入る前に、風、雨を避けるためドアや窓は全て閉じ、開口部はシート等で通風を防いでください。また、強い日差しを受ける箇所はシート等で保護し、急激な乾燥を避けてください。施工後24時間以上は閉鎖したままにしてください。

(6) S L フロアーの練り混ぜ

- ・ 練り混ぜ器具は高速ミキサー（グラウトミキサー）もしくはハンドミキサー（800min⁻¹以上の高速型）を用いてください。
- ・ 水道水 6.3 リットルを容器に入れ、S L フロアー 25 k g を徐々に投入しながら練り混ぜ、全量投入完了から 3 分間練り混ぜてください。
- ・ フロー値を測定し、220 mm ± 10 mm 間になるよう水量調整してください。（測定方法は末尾に記載）
水量調整は 6.0 リットル～6.5 リットル間としてください。
レイタンスや強度不足の原因になりますので水量は指定範囲内としてください。
- ・ 材料を練混ぜたら、夏季 20 分以内、冬季 40 分以内に流し込んでください。
- ・ 水を加えての練り返しや練足しは行なわないでください。

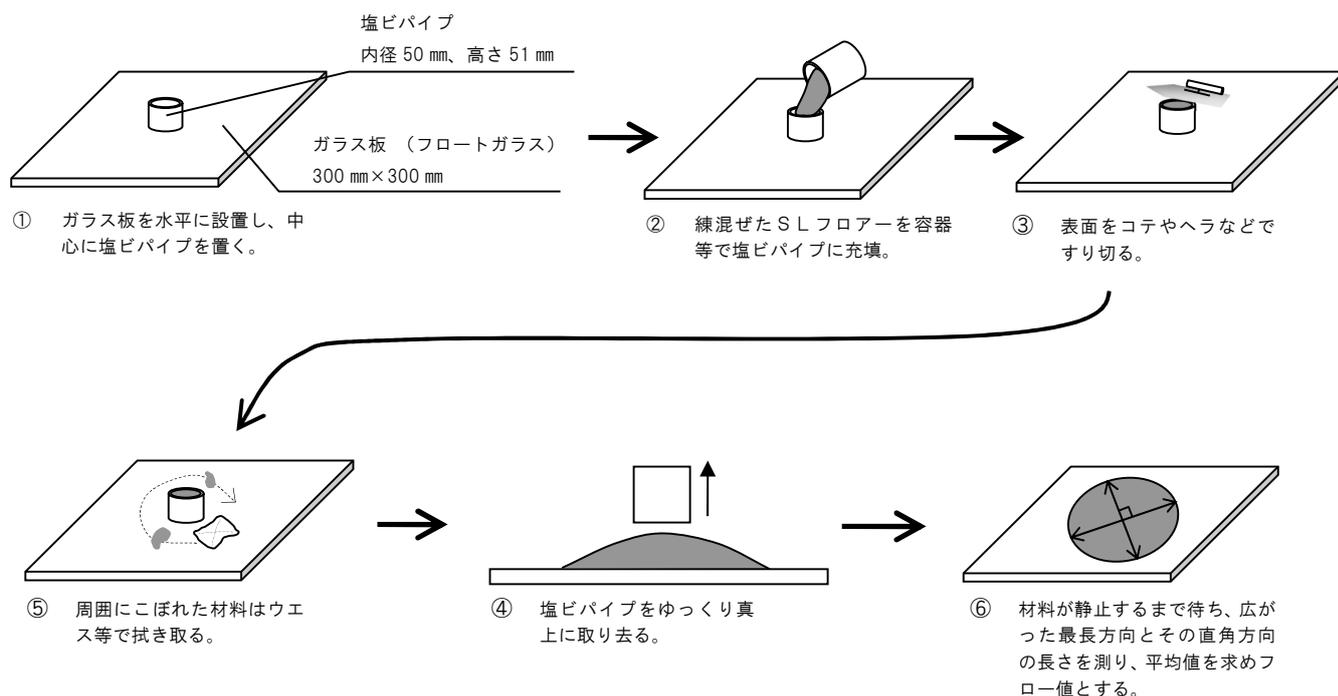
(7) 流し込み

- ・ 平坦な仕上がりを得るために、流し込み始めから 10 分以内に仕上がり位置まで流し込んでください。
- ・ 施工面の奥端部より、仕上がり墨およびあたりに合わせて移動しながら均一に流し込んでください。
- ・ 土間ゴテで表面を平坦に均しながら流し込みを進めてください。設けたセキは両側の流し込み厚が一致したら取り外してください。
- ・ 打ち継ぎ部などの均し作業は、流し込み後 15 分以内に完了させてください。

(8) 養生

- ・ 施工終了より 24 時間以上は閉鎖したままにして、風や雨・直射日光を防いでください。また、振動・衝撃を受けないように注意してください。
- ・ 軽歩行は、夏期 24 時間以上、冬期 2～3 日以上で可能ですが、表面はキズつきやすいためダンボールや養生シートを敷くなど保護してください。また、建築資材等の直置きも避けてください。
- ・ 仕上げ材の施工までは夏期 7 日以上、冬期 14 日以上養生してください。
- ・ S L フロアー硬化後、表面にレイタンスが出た場合や気泡が発生し表面に凸部ができた場合には、ポリッシャーなどで表面を研磨し、凹部の大きな場合はポリマーセメントモルタルで埋め平滑に仕上げてください。

《フロー値の測定要領》



注意：ガラス板は水平にしてください。
ガラス板が濡れていると正確に測定できませんので良く拭き取っておいて下さい。

二瀬窯業株式会社

本社：〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
TEL (0948) 22-0447 / FAX (0948) 29-0289